

第7回地域医療対策協議会	参考資料②
令和4年9月1日	

# 令和5年度(2023年度)専攻医シーリングについて

熊本県健康福祉部

# 日本専門医機構が示した令和5年度(2023年度)シーリングの基本的考え方

## シーリング数

令和4年度(2022年度)の採用数を用いた再計算は行わず、**令和4年度(2022年度)と同数**とする。

※本県は内科(39名)、精神科(15名)、整形外科(10名)

「特別地域連携プログラム」及び「子育て支援加算」含む

## シーリング対象外

- (1) 医師少数区域等への従事要件及び都道府県からの奨学金の貸与があり、地域医療対策協議会で承認を得られた地域枠医師及び自治医科大学卒業医師
- (2) 以下の要件を満たす地域枠医師(令和4年度の新たな定義)で地域医療対策協議会で承認を得られた医師

①別枠方式により選抜されていること、②卒業直後より当該都道府県内における9年間以上の従事要件が課されていること、③大学入学時に都道府県と本人と保護者もしくは法定代理人が従事要件に書面同意していること、④都道府県のキャリア形成プログラムが適用されていること

ただし、上記(1)、(2)のうち、医師少数区域または医師少数スポットで研修を行う予定の医師のみをシーリング対象外とする。(令和4年度(2022年度)から追加事項)

※ 追加事項について日本専門医機構に確認済(6/10に回答有)

「令和3年度(2021年度)にシーリング対象外とした地域枠医師等の中で、従事要件として、医師少数区域や医師少数スポットでの勤務を行う予定のない者が含まれていたため、令和4年度(2022年度)において運用を厳格化し、医師少数区域または医師少数スポット等で勤務を行う予定がある者のみをシーリングの対象外とする。」と解釈して構わないことを確認。

⇒ 本県の場合、地域枠医師等の勤務先として医師少数区域または医師少数スポットが設定されているため、影響はない。

# (参考) 令和5年度(2023年度)シーリングの設定について①

## シーリングの対象

- 平成30年(2018年)医師数が、平成30年(2018年)必要医師数及び令和6年(2024年)の必要医師数と同数あるいは上回る診療科。
- 外科・産婦人科※1、病理・臨床検査※2、救急科・総合診療科※3はシーリング対象外。

※1平成6年度(1994年度)と比較して平成28年度(2016年度)の医師数自体が減少しているなどの理由。  
※2専攻医が著しく少数である等の理由  
※3今後の役割についてさらなる議論が必要とされている等の理由

## シーリング数

(算定式)

$$\text{H30年(2018年)～R2年(2020年)の平均採用数} - \left[ \left( \text{H30年(2018年)～R2年(2020年)の平均採用数} - \text{R6年(2024年)の必要医師数を達成するための年間養成数} \right) \times 20\% \right] + \text{特別地域連携プログラム} + \text{子育て支援加算}$$

$$\text{※熊本県：内科 } 33 - \left[ ( 33 - 34 ) \times 20\% \right] + 3 + 3 = 39$$

## (参考) 令和4年度(2022年度)シーリングの設定について②

### 採用数が少数の県に対する例外

- 平成30年(2018年)～令和2年(2020年)採用数のいずれかが10未満である都道府県別診療科のシーリング数を2018年～2020年採用数のうち最も大きい数とする。

※ 本県は精神科、整形外科が該当

- 過去の採用数の平均が少数(5以下)の都道府県別診療科は、シーリング対象外とする。

※ 本県は泌尿器科、麻酔科が該当

### 地域枠医師等

- 医師少数区域等への従事要件及び都道府県からの奨学金の貸与があり、地域医療対策協議会で承認を得られた地域枠医師及び自治医科大学卒業医師はシーリングの対象外とする。
- 以下の要件を満たす地域枠医師(令和4年度の新たな定義)で地域医療対策協議会で承認を得られた医師はシーリング対象外とする。

①別枠方式により選抜されていること、②卒業直後より当該都道府県内における9年間以上の従事要件が課されていること、③大学入学時に都道府県と本人と保護者もしくは法定代理人が従事要件に書面同意していること、④都道府県のキャリア形成プログラムが適用されていること

## (参考) 令和6年(2024年)診療科別必要医師数

日本専門医機構が必要医師数算定に用いる将来の患者数推計の基礎データを診療科ごとに  
見直した結果、本県の令和6年(2024年)の診療科別必要医師数は令和3年度に増加。令和  
4年度は令和3年度と同数。

〔熊本県〕 診療科別必要医師数

※シーリング対象外の6診療科を除く

診療科	令和3年度 (2021年度) 見直し	令和4年度 (2022年度)	診療科	令和3年度 (2021年度) 見直し	令和4年度 (2022年度)
内科	1,914	1,914	泌尿器科	128	128
小児科	248	248	脳神経外科	140	140
皮膚科	132	132	放射線科	105	105
精神科	233	233	麻酔科	148	148
整形外科	360	360	形成外科	59	59
眼科	197	197	リハビリテーション科	39	39
耳鼻咽喉科	129	129	<b>計</b>	<b>3,832</b>	<b>3,832</b>

## (参考) 必要医師数を達成するための年間養成数

$$\begin{aligned}
 & \text{R6年(2024年)の必要医師数を達成するための年間養成数} \\
 & = \text{H28年(2016年)の医師数を維持するための年間養成数} + \frac{\left[ \text{R6年(2024年)の必要医師数} - \text{H28年(2016年)の医師数} \right]}{\text{診療科別生存率}}
 \end{aligned}$$

〔熊本県〕 ※シーリング対象外の6診療科を除く

診療科	令和6年(2024年)診療科別必要医師数	令和6年(2024年)必要医師数達成のための年間養成数	診療科	令和6年(2024年)診療科別必要医師数	令和6年(2024年)必要医師数達成のための年間養成数
内科	1,914	34	泌尿器科	128	2
小児科	248	6	脳神経外科	140	8
皮膚科	132	2	放射線科	105	-2
精神科	233	-5	麻酔科	148	3
整形外科	360	4	形成外科	59	5
眼科	197	6	リハビリテーション科	39	2
耳鼻咽喉科	129	6			

# 本県における各診療科ごとの専攻医の採用状況①

項目		基本領域																			
		内科				小児科				皮膚科				精神科				外科			
		H31	R2	R3	R4	H31	R2	R3	R4	H31	R2	R3	R4	H31	R2	R3	R4	H31	R2	R3	R4
①	募集専攻医数	60	60	60	60	11	11	11	11	14	5	14	14	12	15	15	14	22	22	22	23
②	シーリング数	-	35	33	33	-				-				-	11	11	11	-			
③	採用専攻医数	36	37 (3)	40 (7)	32 (3)	8	7	7	1	3	4	6	7	11	4	4	7 (1)	14	11	9	7
参考	R5(2023)年度 シーリング数	33				-				-				11				-			

項目		基本領域																			
		整形外科				産婦人科				眼科				耳鼻咽喉科				泌尿器科			
		H31	R2	R3	R4	H31	R2	R3	R4	H31	R2	R3	R4	H31	R2	R3	R4	H31	R2	R3	R4
①	募集専攻医数	12	8	8	8	8	8	9	13	9	7	6	6	5	5	7	7	8	8	8	8
②	シーリング数	-	8	8	8	-				-				-				-			
③	採用専攻医数	8	8	9 (1)	4 (1)	3	4	6	3	4	5	3	2	4	3	0	3	4	6	3	5
参考	R5(2023)年度 シーリング数	8				-				-				-				-			

※R2、R3、R4年度の採用専攻医数の( )内は採用数のうちシーリング対象外で採用となった地域枠医師等の数

## 本県における各診療科ごとの専攻医の採用状況②

項目	基本領域																			
	脳神経外科				放射線科				麻酔科				病理				臨床検査			
	H31	R2	R3	R4	H31	R2	R3	R4	H31	R2	R3	R4	H31	R2	R3	R4	H31	R2	R3	R4
① 募集専攻医数	10	6	6	6	8	8	8	6	17	9	9	8	2	2	2	2	1	1	1	1
② シーリング数	-				-				-	6	-	-	-				-			
③ 採用専攻医数	5	4	2	1	3	5	6	5	6	5	6	1	2	2	1	0	0	0	0	0
参考 R5(2023)年度 シーリング数	-				-				-				-				-			

項目	基本領域																合計			
	救急科				形成外科				リハビリテーション科				総合診療科							
	H31	R2	R3	R4	H31	R2	R3	R4	H31	R2	R3	R4	H31	R2	R3	R4	H31	R2	R3	R4
① 募集専攻医数	15	18	18	18	0	0	6	5	2	2	2	4	19	19	19	19	235	214	231	233
② シーリング数	-				-				-				-				-			
③ 採用専攻医数	9	5	4	5	0	0	2	4	0	1	1	1	2	2	2	3	122	113 (3)	111 (8)	91 (5)
参考 R5(2023)年度 シーリング数	-				-				-				-				-			

※R2、R3、R4年度の採用専攻医数の( )内は採用数のうちシーリング対象外で採用となった地域枠医師等の数